

HOPの成果報告と今後の運営体制について

～3月14日に帯広市でHOPの成果等に関する説明会を開催します～

初心者でも簡単に輸出が行える「北海道国際輸送プラットフォーム（HOP）」は予定の5年間の事業を終え、約250社の道内企業が初めて輸出を行いました。平成29年4月からは、海外とのマッチング機能を強化した一般社団法人北海道国際流通機構（仮称）が新設され、自治体及び道内企業とも連携して更なる輸出拡大を図ることとされています。つきましては、これから輸出を始める道内企業や地方自治体などを対象に道内各地で説明会を開催しますので、お知らせします。

北海道産品の輸出拡大を図るため、平成25年9月に「北海道国際輸送プラットフォーム（HOP）推進協議会」〔事務局：北海道開発局、北海道庁、札幌大学〕が設立され、輸出手続きの代行及び小口冷凍・冷蔵輸送し、初心者でも簡単に輸出が行える「HOP1サービス」や外国人観光客向けの宅配サービス「海外おみやげ宅配便」を始め、商談会の開催、海外アンテナショップへの出品等、様々な取組を実施して参りました。

予定していましたHOPの5カ年事業が今年度で終了し、平成29年4月からは、協議会に参加していた民間企業が中心となり、海外とのマッチング機能を強化した一般社団法人北海道国際流通機構（仮称）が新設され、自治体及び道内企業とも連携して更なる輸出拡大を図ることとされています。

つきましては、下記のとおり説明会を開催しますので、ご興味のある方は参加いただきますようお願い申し上げます。

記

- 日時：平成29年3月14日（火曜日） 13:30～15:30 <定員40名>
会場：帯広開発建設部1階第3・4会議室（住所：帯広市西4条南8丁目）
※当日は記者席をご用意しています。
テーマ：①HOPの成果報告
②今後の運営体制について

※申込み方法等の詳細は、北海道開発局ホームページ「HOPの成果等に関する説明会」のページをご覧ください。【北海道開発局ホームページ】

http://www.hkd.mlit.go.jp/zigyoka/z_kowan/platform/setumeikai.html

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 帯広開発建設部
築港対策官 大川 美弘 (0155-65-4600)
築港対策官付 上席築港専門官 河合 淳 (0155-65-4600)